

平成 28 年度第 1 回 IR 人材育成研修会アンケート結果

「平成 28 年度第 1 回 IR 人材育成研修会」アンケートは、参加者 30 名（うち入門編 19 名、初級編 11 名）から回答があった。

今回の研修会の開催の情報をどこから得たかを、複数回答できいた結果を図 1 に入門編、初級編の 2 クラスに分けて示した。入門編参加者は職場や知人から情報を得たケースが多かった。初級編はメーリングリストからと答えた参加者が多く、開催母体の 1 つである大学評価コンソーシアムのメーリングリスト、次いで高等教育関連の情報提供を行っている asagao から続いた。

研修会への参加申込みのきっかけを、同じく複数回答できいた結果を図 2 に示した。これも、入門編・初級編の各クラスで傾向が異なり、入門編参加者はテーマと同時にレベル設定をきっかけと回答した者も多かった。場所と回答した者も一定数あった。今回の企画では入門と初級の 2 つのクラスを設定したが、今後の開催のレベル分けの参考にしたい。

Q2、どこでお知りになりましたか

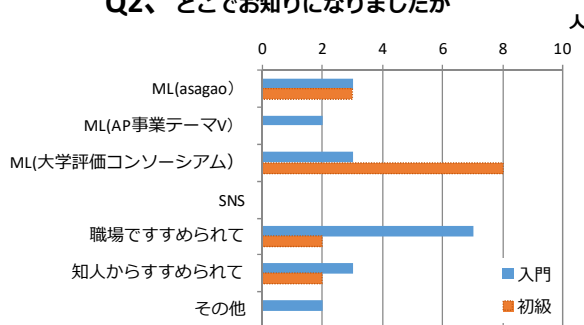


図 1：開催を何で知ったか
(複数選択可)

Q3、参加申込みのきっかけ

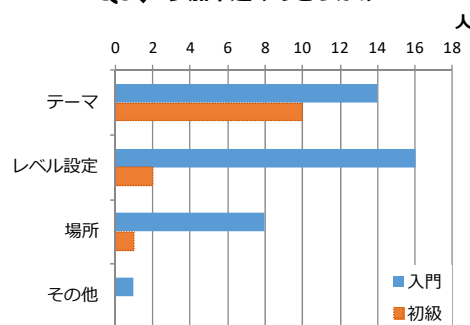


図 2：参加申込みのきっかけ
(複数選択可)

続けて、初級編参加者の回答を分析する。図 4 上段グラフに示したように、参加者のほぼ全員が満足と回答した。図 4 中段のグラフは、研修会の長さが丁度良いという回答がほとんどであったことを示している。長いという回答は、半日での開催を希望する声であった。図 4 下段は参加者の理解度を示し、約四分の三の参加者が理解できたと回答した。午前中の講義と、午後のワールドカフェ（グループディスカッションの一形態）からなる構成は、他大学からの参加者と交流でき、また、他大学の事情も知ることができた点で好評であった。今後の期待としては、中上級の開催、指標設置について、統計スキル、分析スキル、データ作成・管理などが挙げられた。

今回は研修会パイロット版として開催しており、プログラムの内容には試行的な箇所も含まれていることを承知の上で申込みを頂いていたが、参加者からは高い評価を得たようである。

(藤井 [名古屋大])

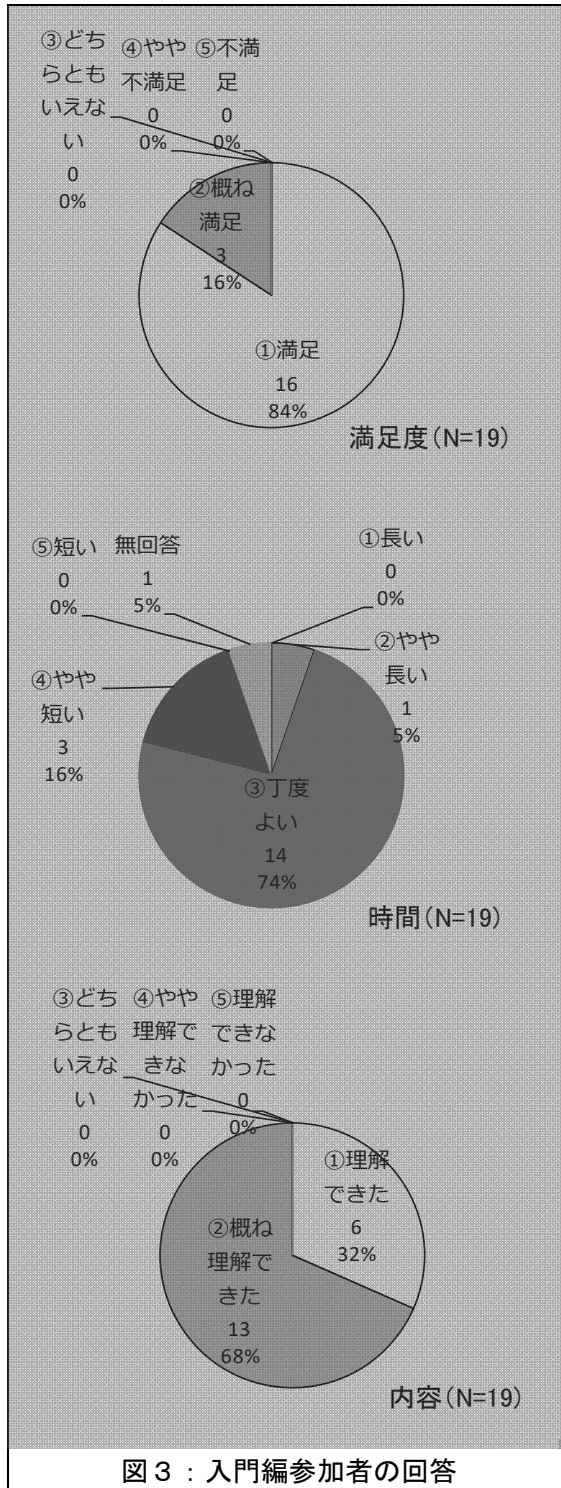


図 3 : 入門編参加者の回答

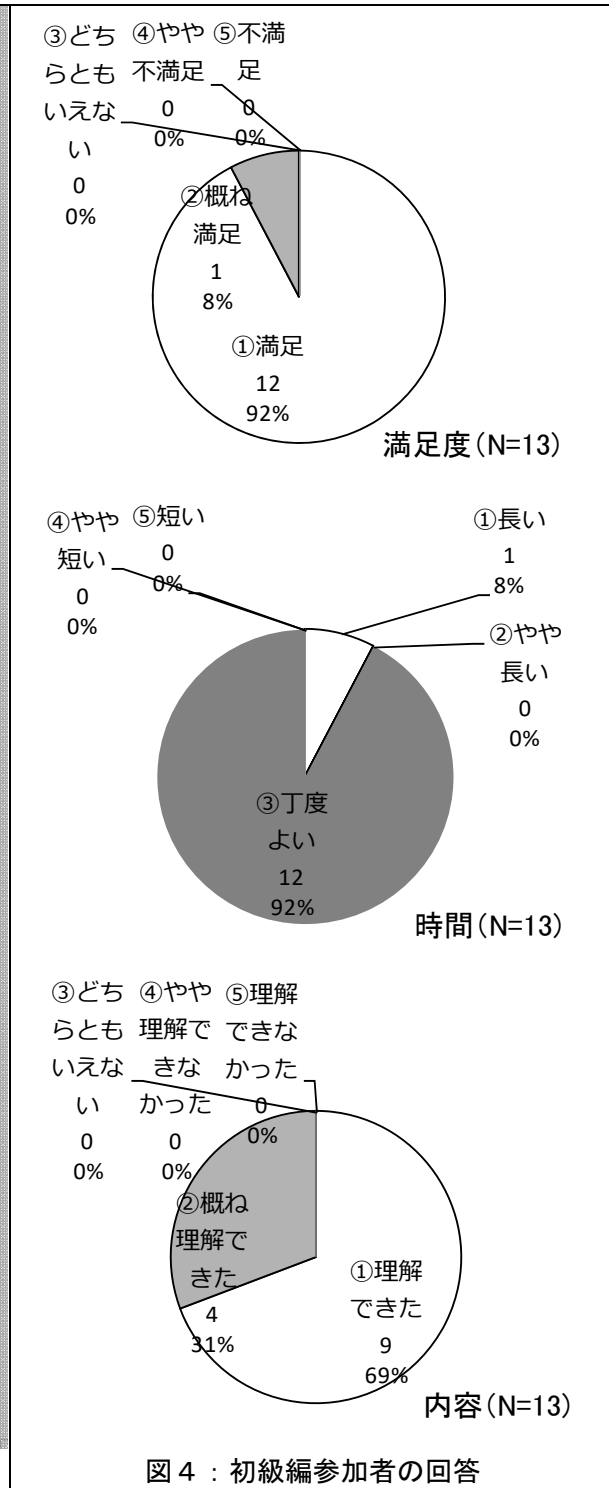


図 4 : 初級編参加者の回答

アンケート結果の詳細＜初級編＞

I D	属 性	Q1 満足度	Q1 時間	Q1 内容	Q1 回答した理由	Q2 開 催を何で 知ったか	Q3 参加 申込みの きっかけ	Q4 良かった点・悪 かった点	Q4 取り扱 ってほし いテーマ	Q4 次回以降開催 地の希望	Q4 その他ご意見等
1	私立	①満足	①長い	①理解できた	半日だと参加しやすいので、長いと思いましたが、2回分受けられたと思えば問題ありませんでした。	知人からすすめられて	テーマ	かけ出しの私にはちょうどよいレベルでした。今日もたくさんヒントをいただいて帰ります。明日からさっそく実行します。			
2	国立	①満足	③丁度よい	①理解できた	・本学はファクトブックは作成しない方針だったが、現在のおかれた状況を鑑みると必要な部分もあるのではないかと思えた。 ・データ収集方法について他大学の状況を伺うことができた。	大学評価コンソーシアムML	レベル設定	特にありません。		関西地区	
3	私立	①満足	③丁度よい	①理解できた	IRに関する国内外の動向や情報収集の実践方法について、講義を通じて大変良く理解できました。また、今後のグループワークでは、IRに関して、他大学の方の取り組みや考え方について貴重な情報を多くいただき、大変参考になりました。	asagao ML、職場ですすめられて	テーマ	IR担当の皆さんと情報交換できたこと。	IRに関する具体的な分析スキルについて。		大変勉強になりました。

I D	属 性	Q1 満足度	Q1 時間	Q1 内容	Q1 回答した理由	Q2 開 催を何で 知ったか	Q3 参加 申込みの きっかけ	Q4 良かった点・悪 かった点	Q4 取り扱 ってほし いテーマ	Q4 次回以降開催 地の希望	Q4 その他ご意見等
4	私立	①満足	③丁度よい	①理解できた	午前中に議論、午後にディスカッションができて充実感ある研修でした。	asagao ML	テーマ	理論と実践の講義や議論ができたのは良かったです。ワールドカフェのテーマは「そもそもファクトブックを作らない」という結論はアリだったのでしょうか。はじめに議論の前提を示していただいてもよかったです。	統計手法	勤務地に近いので、東京だとありがたいです。	
5	私立	①満足	③丁度よい	①理解できた	他大学の方とワールドカフェによって課題を共有することができました。	大学評価コンソーシアムML	テーマ	講義形式とグループワーク方式の両方で“アクティブ”にIRについての知識を深められたこと。他大学においてもIR推進には同様の悩みがあり、コミュニケーションを活発にする等、具体的な解決策がイメージできたことがよかったです。	指標設置に関するテーマ		
6	私立	①満足	③丁度よい	②概ね理解できた	午後のセッションでは、他大学さんの取り組みや悩みを共有でき、本学だけの悩みではないのだな、と安心したり、焦ったりなど、勉強になった。	職場ですすめられて	テーマ		情報リテラシーの共通理解の方法	東京	

I D	属 性	Q1 満足度	Q1 時間	Q1 内容	Q1 回答した理由	Q2 開 催を何で 知ったか	Q3 参加 申込みの きっかけ	Q4 良かった点・悪 かった点	Q4 取り扱 ってほし いテーマ	Q4 次回以降開催 地の希望	Q4 その他ご意見等
7	国立	①満足	③丁度よい	①理解できた	検討中(個人的に)のデータカタログに関する情報収集ができたことが収穫でした。	asagao ML	テーマ				
8	私立	①満足	③丁度よい	①理解できた	講義、グループワーク共に学ぶことが多く、具体的に今後の業務に反映できるような成果を得ることができました。ありがとうございます。	大学評価コンソーシアムML	テーマ	グループ分けが適切で、議論がスムーズに이었습니다。	具体的分析事例	特になし	
9	国立	①満足	③丁度よい	②概ね理解できた	他機関の職員、教員とIRについて多くの情報交換ができ、大変有意義な研修となりました。	大学評価コンソーシアムML	テーマ	データ収集の実践例について、参考となりました。		関東近県	
10	私立	①満足	③丁度よい	①理解できた	他学の情報が聞くことができとても参考になりました。午前の講義でもIRの基礎知識を学ぶことができ参考になりました。	大学評価コンソーシアムML、知人からすすめられて	テーマ				

I D	属 性	Q1 満足度	Q1 時間	Q1 内容	Q1 回答した理由	Q2 開 催を何で 知ったか	Q3 参加 申込みの きっかけ	Q4 良かった点・悪 かった点	Q4 取り扱 ってほし いテーマ	Q4 次回以降開催 地の希望	Q4 その他ご意見等
1 1	無 記 名	①満 足	③ 丁 度よ い	② 概 ね 理 解で きた	問題が共有できた	大学評 価コン ソーシア ムML	場所		中・上級をやっ てほしい	東京	
1 2	私 立	①満 足	③ 丁 度よ い	① 理 解で きた	1日研修でした。	大学評 価コン ソーシア ムML		良かった点:米国およ び日本でのIRおよび 大学が置かれている 背景がよくわかりまし た。他大学の事情が よくわかりました。	IR 担当者の業 務遂行能力を 向上させるプロ グラム。	田町は便利です。	
1 3	関 係 機 関	②概 ね満 足	③ 丁 度よ い	② 概 ね 理 解で きた	具体的なデータ収集のお話 しをもう少し聞けるとなおよか ったと思いました。	大学評 価コン ソーシア ムML	テーマ、 レベル 設定		データ収集、管 理の基礎(いか にデータを作り、 整理して管 理するか、という 技術的な話)		

以上